



## 【戦評シート】

平成 16 年 5 月 2 日 ( 日 )	協会名： 能代市 バスケットボール協会	
場 所： 能代市総合体育館	記入者： 荒川 徹	
チームA <u>安城学園高校</u>	$\left\{ \begin{array}{l} 35-13 \\ 25-14 \\ 26-19 \\ 25-19 \end{array} \right\}$	チームB <u>松江東高校</u>
111	65	

スターター	チームA： #4清水、#5中野、#6永田、#7伊藤、#13宇佐美 チームB： #4安部、#6佐藤、#7青砥、#9林、#13永田
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( 2-1-2 ) <input type="checkbox"/> その他 (オールコートゾーンプレス ) チームB： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

第1Q、安城学園#5中野が開始から連続してゴールをうばう。松江東は#4安部#6佐藤がシュートを決め返すが安城学園のしつこい DF に手を焼き連続した攻撃ができない。中野は3P4本を含み、この Q だけで 20 得点をかせぎだす。

第2Q、スターティングの4人を温存した安城学園に、松江東は素晴らしいパスワークからゾーンディフェンスをくずし攻撃の糸口をつかむが、最後の決定力に欠け、リズムを生みだせない。安城学園は控えの選手もよく働き得点を重ね、前半を 60-27 の大量リードで終えた。

第3Q、開始早々安城学園のペースとなる。松江東はタイムアウトを取り、動きの指示を徹底し流れを呼びもどす。#14 六路の3P、#10 玉城のカットインプレーで応戦するがガードのミスも目立ち、86-46 で終える。

第4Q、松江東の攻撃からだが、疲労からか、イージーミスが相次ぐ。安城学園はメンバーを次々入れ替えるもそのスタイルを変えず、オールコートで走り回る。内外角ともよく攻め、点差は広がる一方。終盤は新1年生の3人も交代し、よいプレーを見せる。結局、終始試合のペースを握った安城学園が 100 点ゲームで快勝した。最後までよくボールにくらいついた松江東の明日からの頑張りにも期待したい。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。